



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
 - 第4回交通バリアフリー推進の集い 開催します(11月14日)
 - 交通バリアフリー推進の集い冊子配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
 - 都市交通再生&地球温暖化対策セミナー in 八戸～公共交通から考える“環境”そして“まちづくり”～福祉交通サービスの新しい時代を築くセミナー
 - シンポジウム 高齢社会の新しい生活交通を探る
 - コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化
- (3) エコモからのお知らせ
 - バリアフリーボランティアモデル事業
 - アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2005
 - 旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました
 - 参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました
 - バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開
 - らくらくおでかけネット
 - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ
 - 平成17年度情報化月間講演会の実施について(国土交通省)
 - ユニバーサルデザイン政策大綱が公表(国土交通省)
 - 「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について(内閣府)
 - ～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～(国土交通省)
 - 交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)
- (5) 各種催し物のお知らせ
 - REHA CARE(リハケア)国際リハビリテーション展(ドイツ)
 - 第14回全国ボランティアフェスティバル 火の国くまもと
 - Mediphar Taipei 2005(台湾)
 - International Exhibition of Technical Aids and New Technology for Disabled People(ポルトガル)
 - 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005
 - P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展
 - World Congress and Exposition on Disabilities(アメリカ)
 - 2005光州国際シルバー博覧会(韓国)
 - 高齢、障害と自立に関する国際会議(アメリカ)
 - 第3回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto
 - バリアフリー2006
 - 第9回 国際福祉健康産業展～ウェルフェア2006～
- (6) その他
 - 書籍に関して
 - 記事募集中
 - お願い(必ずお読みください。)
 - ・転送先について ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

第4回交通バリアフリー推進の集い 開催します(11月14日)

第4回交通バリアフリー推進の集いを、11月14日(月)に開催することとなりました。参加ご希望の方は、ホームページから直接お申し込み頂くか、FAXに必要事項をご記入の上、お送りください。(ご所属、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号、FAX番号、E-mail、ご希望される連絡方法)締切は、11月9日です。

http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/tudo4/tudo4.htm

FAX: 03-3221-6674

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(平成15年度、平成16年度)をご希望の方は、ご連絡ください。 FAX: 03-3221-6674 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

都市交通再生&地球温暖化対策セミナー in 八戸 ~ 公共交通から考える "環境" そして "まちづくり" ~
地球温暖化の問題が深刻化する中で、運輸部門の二酸化炭素排出量の抑制が重要な課題となっており、車両の環境負荷低減対策はもちろんのこと、環境負荷を軽減するための交通政策・都市計画のあり方が問われています。

そこで、八戸市では「環境立市」の理念をふまえて、公共交通を活かした魅力的なまちづくりのあり方を探るための公開セミナーを開催します。また、このセミナーでは、地域交通(東北地方・青森県内)の実状と課題、並びに新しい交通システムとして注目されているDRT(需要応答型交通)の先進事例を紹介するとともに、パネルディスカッションによる意見交換・情報共有を通じて、八戸市がめざすべき都市・地域交通の方向性を検証します。入場は無料で、どなたでも参加できます(事前申込みが必要です)。

日時: 10月11日(火) 午前10時開会

会場: 八戸グランドホテル(青森県八戸市番町14)

問い合わせ: 八戸市企画部政策推進室 TEL 0178-43-2111 内線662

http://www.city.hachinohe.aomori.jp/koho/oshirase/news_17_044.html

福祉交通サービスの新しい時代を築くセミナー <http://allsts2005.blog23.fc2.com/>

わが国の福祉交通サービス(STS)は、新しい時代を迎えようとしています。介護保険、障害者サービス提供システム、道路運送法、交通バリアフリー法など、STSをめぐる法制度が大きく見直されつつあります。特に2004年3月に出生された道路運送法80条運用ガイドライン(通達)によって、NPO法人であっても一定の要件を満たせば、有料・有償で高齢者や障害者など移動困難者を送迎できるようになったのは大きなイノベーションを社会に与えました。今後、移動の保障は日本でもどのように展開していくのでしょうか? 本セミナーはこのようなSTSを取り巻く環境が変化中、これからの展開について、行政、NPO、タレント、研究者、そして利用者が一同に会して議論し尽くし、今後どのような方向をめざすべきかともに考えるセミナーです。

日時: 10月21日(金)~22日(土)

会場: 日本財団ビル2階大会議室 東京都港区赤坂1-2-2

定員: 200名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費: 2,000円(参加日数にかかわらず資料代として) 懇親会代 2,000円(21日夜、参加者のみ)

内容: 第1日目 21日 9:45~17:30

福祉交通の将来展望

基調講演「移動困難者交通の将来展望」三星昭宏氏(近畿大学)

「国土交通省の福祉交通サービス」 田端浩氏(国土交通省自動車交通局)

「障害者の社会参加と移動の保障」 河幹夫氏(内閣府市場化テスト推進室長)

討論「移送サービスの将来を語る」

パネリスト 三星昭宏氏、田端浩氏、河幹夫氏

司会 秋山哲男氏(首都大学東京)高橋万由美氏(宇都宮大学)

福祉交通の先進事例

「地域福祉を目指した交通サービス～タクシー事業者による」小林信勝氏(つくば観光交通(株))

「共同配車センター」竹田保氏(ST ネット北海道)、津田茂樹氏(であい共生舎)、藤澤秀治氏(枚方市生涯福祉室)

「カワフスコの移送サービス」杉本依子氏(ハゲイブ ゆづり葉)、秋山系織氏(移動サポートひらけごま)

「海外の在宅医療」藤井直人氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)

4つの分科会による討論

1. 「行政分科会：道路運送法80条運営協議会から地域交通協議会へ」

2. 「タクシー分科会：共同配車センター、タクシーと地域福祉」

3. 「NPO分科会：新しい公共の中でのNPOの役割」

4. 「病院送迎分科会：先進事例による送迎問題への対応」

懇親会

第2日目 22日 10:00～15:10

分科会「21世紀の福祉交通サービスの新しい時代を築く」

1. 「外出とソーシャルインクルージョン利用者の視点に立った、社会的排除を阻む制度・サービスのあり方について」

2. 「地域の新しい交通の考え方 バス・DRT・タクシー・福祉交通サービスを総合化する」

3. 「福祉交通サービスと新しい公共のあり方 公共サービスとは何か、行政は何をすべきか」

4. 「タクシーの「今」を知ろう 福祉交通の担い手としてのタクシーの未来を見据えて」

シンポジウム「福祉交通はどこへいく」

パネリスト 高橋紘士氏(立教大学)、桑田まさ子氏(国土交通省自動車交通局)、黒田司郎氏(堺相互

タクシー株式会社/NPO 法人全国介護移送協会)、笹沼和利氏(埼玉県移送サービスネットワーク)

司会 河崎民子氏(かながわ福祉移動サービスネットワーク)

問合せ先：セナ-実行委員会 TEL0426-77-2360(月～金 10:00～17:00)

申込み 電子メール、FAX、郵便のいずれかでお申し込みください。

電子メールの場合 9月30日までに必要事項を送信。allsts2005tokyo@yahoo.co.jp

FAX・郵便の場合 参加申込書に必要事項を記入のうえ、9月30日までに送付。

FAX020-4664-9609

郵便 〒192-0397 八王子市南大沢1-1

首都大学東京秋山研究室内福祉交通サービスセナ-実行委員会

参加申込書の到着後、受付完了をご連絡します。

シンポジウム 高齢社会の新しい生活交通を探る

市民、行政、交通事業者、民間企業が協力して、市民の生活交通を考えます。締切は10月26日までです。

日時：11月1日(火) 13:00～15:45(13:00開場)

場所：パルティ多摩小ホール(多摩センター駅からパルティ大通り徒歩5分)

参加費：無料

プログラム 主催者挨拶 多摩市長

事例報告 町田市 地域コミュニティバス「玉川学園」(町田市都市計画部都市計画課)

府中市 高齢者・障害者福祉タクシー、育児支援タクシー(十全交通)

多摩市 のりゆき交通社会実験(首都大学東京秋山研究室)

パネリスト「新しい生活交通を探る」コーディネーター 秋山哲男(首都大学東京教授)

パネラー 鎌田実(東京大学教授)、船曳義郎(国土交通省関東運輸局自動車交通部長)

高橋豊(町田市都市計画部都市計画課交通計画担当課長)

水田誠(十全交通株式会社取締役)、渡辺幸子(多摩市長)

横山陽(Ur 都市機構東日本支社多摩事業本部長)

申込先：FAX042-373-8109、[電子メール tama_noritaku@yahoo.co.jp](mailto:tama_noritaku@yahoo.co.jp)にて、お申し込みください。

お名前、お住まい(市町村名・町名)、ご所属の会社・団体名をご記入ください。

コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化

経済産業省は、4月20日に、「コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則(JIS T0103)」の

規格を制定しました。

この規格は、文字や話し言葉によるコミュニケーションの困難な人が、自分の意思や要求を相手に的確に伝え、正しく理解してもらうことを支援するための絵記号に関する日本工業規格(JIS)です。なお、この絵記号は共用品推進機構のホームページでダウンロードできます。

<http://www.kyoyohin.org/>

(3) エコモからのお知らせ

バリアフリーボランティアモデル事業

国土交通省では「心のバリアフリー」社会の実現に向けた取り組みの一つとして、バリアフリーボランティアモデル事業を本年度全国5カ所で実施します。

ハード(施設)面でのバリアフリー化が拡充されつつも、それだけでは十分に対応しきれない状況もあり、人による付加的な対応が必要になる部分があると考えられます。また、公共交通機関を利用する時の様々なサービスが機械化される中で、人的な対応を行うことが利用者に安心感をもたらすという面もあります。

交通事業者の従業員による対応もさることながら、多様なニーズに柔軟性をもって応えるにはボランティアなどの市民の力に依拠した展開が必須と考えられます。NPO やボランティア等の取り組みと十分に連携を図りつつ、駅及びその周辺においてボランティアモデル事業を実施することにより、一般の人々の意識啓発、人による対応の組織化・活性化を促進するための地域と密着した取り組みを推進し、モデル事業を通じて得られた知見を活かし、人による移動円滑化の支援のあり方等制度化を検討することになっています。

各地の実施状況

関東地区 (http://www.ktt.ml.it.go.jp/topics/0507_kamioooka/index.htm) 終了

実施場所：横浜市営地下鉄・京浜急行 上大岡駅

実施期間：8月1日～31日

実施内容：午前9:30～午後5:00まで、改札口付近を中心に市民ボランティアが常駐して、駅利用者のお手伝いをします。

東海地区 (<http://www.barifuri.com/>) 終了

実施場所：JR東海・近畿日本鉄道 鳥羽駅

実施期間：8月1日～31日

実施内容：午前10:00～午後4:00まで、駅を利用する障害者、車いす利用者、高齢者、赤ちゃん連れの親子などの介助、案内、誘導をお手伝いします。

近畿地区 (<http://www.kkt.ml.it.go.jp/news/files/1124264807.pdf>)

実施場所：阪急 石橋駅、商店街、バス停などの周辺地域

実施期間：9月28日～10月30日

実施内容：午前10:00～午後4:00まで、移動支援や案内を希望される方へのお手伝いをいたします。

中国地区 (<http://www.cgt.ml.it.go.jp/koukan/oshirase01.html>) 終了

実施場所：JR西日本 広島駅 及び 広島バスセンター、宇品旅客ターミナル

実施期間：9月1日～9月30日

実施内容：午前9:00～午後6:00まで、お年寄り、体の不自由な方などお困りの方の切符購入、車両の乗り換えや通路、階段の移動等のお手伝いをします。

九州地区 終了

実施場所：JR九州・肥薩おれんじ鉄道 八代駅

実施期間：8月22日～9月22日

実施内容：詳細については検討中

アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2005

21世紀に入り、日本をはじめ多くの国で、高齢社会の進展が大きな社会課題となってきました。これまでは、ある特定の利用者を想定し、その人達向けの限られた製品やサービスの開発を行うことに

より、様々な技術や産業の発展が促されてきました。しかし、来るべき高齢社会では「誰にでも利用可能とすること：アクセシビリティ」が時代を支える新しいキーワードとなります。障害のない人達だけではなく高齢者や障害のある人達を含めたより多くの人々が、それぞれの立場や状況に応じて、使いやすいように配慮された製品やサービス、生活環境の実現が求められることとなります。そこで、様々な関係者が、高齢者・障害のある人達を配慮した社会の実現に向け、適切な情報交換や課題の共有化、共同研究、ルール作りなどを行う場として、アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウムを開催します。

ここでは、高齢社会に向けた、新しい社会のルール作りを目指した熱心な議論が展開されるものと確信いたしております。みなさまの多数のご参加をお待ちいたしております。

尚、本シンポジウムは「障害者週間」の関連事業です。

日時：12月5日(月)13:30～17:00

場所：経団連ホール(社団法人日本経済団体連合会 14階)地下鉄大手町駅A1 またはC1(徒歩5分)
〒100-8188 東京都千代田区大手町1-9-4(経団連会館)

定員：460名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費：無料

<プログラム>

13:30～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

13:45～ セッション1 自治体としてのエバ-カレザイ実践(仮題) 熊本県知事潮谷義子氏

14:30～ セッション2 公共サービス 内閣府障害者政策担当参事官 長門利明氏

<障害のある方に対する心の身だしなみ～公共サービス窓口における配慮マニュアル>(仮題)

15:00～ 休憩

15:15～ セッション3 障害者・高齢政策 厚生労働省社会援護局障害保険福祉部社会参加推進室室長

<障害者・高齢者の社会参加に関して>(仮題)

15:45～ セッション4 交通 国土交通省総合政策局交通消費者行政課交通バリアフリー対策室長 小澤一男氏

<交通バリアフリー法の見直しと今後の展望>(仮題)

16:15～ セッション5 製品情報 経済産業省環境生活標準化推進室室長 横田 眞氏

<障害者・高齢者製品・サービスの政策・標準化 他>(仮題)

16:45～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

お申込み先及びお問合せ先

ADF シンポジウム 事務局(財団法人日本規格協会 標準部国際課 担当 小峰・三分一)

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-22 虎屋ビル7階 TEL:(03)5770-1596 FAX:(03)5770-1592

E-mail:

<申込方法> 郵送及びFAX、e-mail でお願ひします。

*当日は、事前に申込まれた方から優先的に入場できます。*要約筆記がございます。

氏名、連絡先、TEL、FAX、E Mail をご記入ください。

旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました

国土交通省は、国内旅客船のバリアフリー化の指針として、「旅客船バリアフリー設計マニュアル」を策定しているが、旅客船事業者及び造船事業者はこれまで旅客船のバリアフリー化に対する整備の経験も浅く、高齢者や障害者の移動をどのように理解し、整備するのが望ましいのか、その判断に苦慮している意見も多く寄せられていたことから、関係者にヒヤリング等を行い、具体的に分かりやすく説明したハンドブックを作成しました。(1,500円 A4 115頁)

参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました

市民参加をどの様にすすめばよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005年2月25日学芸出版社より発行(本体価格2,900円 A5 272頁)しました。概要は、下記ホームページをご覧ください。お買い求めについては、一般書店で取り扱っております。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/book/ISBN4-7615-2357-3.htm>

バリアフリー学習図鑑 (CD-ROM) の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 3,944 駅、空港 83、バス 180、旅客船 456 ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約 4,000 件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版 = i-mode, vodafone) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版 = EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらには、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組みされる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

平成 17 年度情報化月間講演会の実施について (国土交通省)

国土交通省では、昭和 48 年以来、一般国民を対象として情報化に対する正しい認識と理解を醸成していくことを目的に、関係府省(内閣府、総務省、財務省、文部科学省、経済産業省)とともに毎年 10 月を「情報化月間」と定め、情報化の普及、啓発のための諸行事を実施しているところです。

平成 17 年度の国土交通省関係行事として、講演会を開催しますので、お知らせ致します。

主催 国土交通省 / (財)運輸政策研究機構 / (財)日本建設情報総合センター

日時 平成 17 年 10 月 13 日(木) 14:00 ~ 16:30

会場 霞が関中央合同庁舎 2 号館講堂(地下 2 階)東京都千代田区霞が関 2 - 1 - 2

入場 無料

定員 200 名

《プログラム》14:00 開会挨拶 国土交通省総合政策局情報管理部長

14:05 講演 1 「可視光通信とインフラ」慶應義塾大学理工学部情報工学科 教授 中川 正雄 氏

15:20 講演 2 「建設サプライチェーンマネジメントの実践者『建築市場』」

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授 椎野 潤 氏

16:20 閉会挨拶 財団法人日本建設情報総合センター理事長 豊田 高司

《参加申込》参加ご希望の方は、下記【申込先】のホームページまたは申込書による FAX・e-mail でお申し込み下さい。参加者多数の場合は、複数枚にわたってご記入下さい。受講証等は発行しません。

(当日、受付にてお名刺を 1 枚頂戴します。)

【申込先】運輸政策研究機構情報資料室 TEL03-5470-8413 FAX03-5470-8411 URL:www.jterc.or.jp

日本建設情報総合センター企画調整部 TEL03-3584-2404 FAX03-3505-2966

e-mail : syanagisawa@jacic.or.jp

ユニバーサルデザイン政策大綱が公表 (国土交通省)

国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、今後、身体的状況、年齢、国籍などを問わず、可能な限り全ての人が、人格と個性

を尊重され、自由に社会に参画し、いきいきと安全で豊かに暮らせるよう、生活環境や連続した移動環境をハード・ソフトの両面から継続して整備・改善していくという理念に基づき国土交通行政を推進するため、この度、「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定致しましたので公表いたします。 http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/01/010711_.html

「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について（内閣府）

内閣府は、障害者基本計画（平成14年12月24日閣議決定）に掲げられた「公共サービス従事者に対する障害者理解の促進」を具体化するため、障害のある方が窓口を利用される際に配慮すべき事項を具体的に示した「公共サービス窓口における配慮マニュアル」を作成しました。

マニュアルの作成にあたっては、障害者施策推進本部の下に、全府省庁及び人事院で構成される「公共サービス適切対応推進チーム」を設置し、障害種別の各障害者団体から要望を聴取するとともに、国の公共サービス窓口現場の状況や課題を調査し、これらを踏まえてマニュアルが作成されました。

マニュアルは、国の公共サービス窓口機関で活用するほか、都道府県及びサービス窓口を有する関係団体等にも配布されました。

内容については内閣府ホームページからダウンロードできます。

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～

都道府県別バリアフリー指標の公表

国土交通省では、バリアフリー施設整備の進捗に、地方公共団体の取り組みに差が見られることから、旅客施設、道路、都道府県庁・市町村役場等の公共建築物、バス車両等のバリアフリー化の状況、交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況等の個別指標について情報収集を行い、地方公共団体毎にとりまとめて公表することとしました。

これにより、地方公共団体の意識の向上、基本構想作成促進を図り、面的なバリアフリー環境の整備に資することを目的としています。

http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況（平成17年6月15日まで）

基本構想を作成済みの市区町村 176市町村(209基本構想)

詳細はこちらまで http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/jyurijyoukyou_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

REHA CARE（リハケア）国際リハビリテーション展 <http://www.messe-duesseldorf.de>

日時：10月12日（水）～15日（土） / 場所：ドイツ デュッセルドルフ

第14回全国ボランティアフェスティバル 火の国くまもと <http://www.vf-kumamoto.jp/>

日時：10月29日（土）～30日（日） / 場所：グランドホテル熊本、熊本市民会館、県内6ブロック

Mediphar Taipei 2005 <http://www.taipeitradeshows.com.tw/mediphar/>

日時：11月10日（木）～13日（土） / 場所：台北（TWTC Exhibition Hall）

International Exhibition of Technical Aids and New Technology for Disabled People

日時：11月10日～13日 / 場所：ポルトガル（EXPONOR）<http://www.normedica.exponor.pt>

第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005

<http://www.city.kitakyushu.jp/~nenrinpic/Pages/hw.html>

日時：11月12日（土）～15日（火） / 場所：西日本総合展示場

P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展 <http://www.nishiten.or.jp/fukushi/>

日時：11月13日～15日 / 場所：西日本総合展示場・本館

2005光州国際シルバー博覧会 <http://www.seniorfair.or.kr/>

日時：11月18日～21日 / 場所：金大中コンベンションセンター

World Congress and Exposition on Disabilities <http://www.wcdexpo.com/>

日時：12月1日～3日 / 場所：Pennsylvania Convention Center

高齢、障害と自立に関する国際会議 <http://www.icadi.phhp.ufl.edu/>

日時：2006年2月1日～4日 / 場所：フロリダ大学

第3回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto

日時：2006年2月10日～12日 / 場所：グランメッセ熊本

バリアフリー2006 <http://www.itp.gr.jp/bf/>

日時：2006年4月20日～22日 / 場所：インテックス大阪

第9回 国際福祉健康産業展～ウェルフェア2006～

日時：2006年5月19日～21日 / 場所：ポートメッセなごや

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

コ ラ ム

ヒューマンニーズの階層(A.マズロー)で頂点に立つのが自己実現だそうである。

みんなよりよい生活を求めるのは自然の成り行きと思うが、そこで「人間の究極の幸福は勉強である。」と言われていた。いやはやなんとこれも凡人の拙者には解せぬ、拙者は「おでんやで熱燗一杯、ぼーっとしているときが至福のとき」と思っている。拙者には分からない世界がある。拙者には到底できるはずがない。でも、頭の片隅において自分なりに精一杯頑張るしかないか。最近日本の学力も低下しているといわれる(OECD調査で読解力16位=高1対象)が、若い世代の方には自己実現も必要であるが、常に人間性と真理を念頭に置いて自分なりに励んでもらいたいものである。でもこれは余計なお世話ですね。